

3.12.24

日 岡崎の中根市長 働き方見直しで職員らへ応援



イクボス宣言する中根市長＝岡崎市役所で

「イクボス」になります

岡崎市の中根康浩市長は二十三日、部下のワークライフバランスを考えながら、自らも仕事と私生活を充実させる上司「イクボス」を目指すことを宣言した。

市役所で宣言式があった。これに先立ち、「めざせ、イクボス！」と題した研修があり、中根市長を含む担当課長級以上の職員約六十人が参加した。父親の育児を支援するNPO法人「ファザリング・ジャパン」代表理事の安藤哲也さんが講師を務め、イクボス宣言を

している自治体や企業などを紹介。イクボスには公平性や人間性が求められ、職場の長時間労働や業務の属人化が課題であることを説明した。

研修後、中根市長は「私は自らイクボスとなることで、充実した生活を送ることができ、働き方の見直しに取り組み、職員のキャリアや人生を応援します」と宣言。コミュニケーションを大切に、互いを認め合う職場づくりで、職員のモチベーションを向上させることを誓った。

(土屋あいら)

職員のキャリアなど応援

3.12.24 東海愛知

岡崎 中根市長がイクボス宣言

仕事と生活を楽しむ

岡崎市の中根康浩市長が二十三日、部下のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）を考えながら部下の仕事や人生を応援することも自らも仕事と生活を楽しむことができる上司（管理職・経営者）になることを誓う「イクボス宣言」

を行った。

中根市長は宣言書に

署名後、①照れずに言葉で伝え②互いに認め合う職場風土をつくり③いつも明るく前向きに④モチベーション向上につなげます⑤できるだけ…時々私の相談にものってください⑥の五カ条を述べ、「自らがイクボスとなることで充実した生活を送る

ことができる働き方の見直しに取り組み、職員のキャリアや人生を応援する」と宣言した。

この日は中根市長の宣言に合わせ、市福祉会館で担当課長級以上約六十人が出席した研修会もあり、イクボスを提唱するNPO法人「ファザリング・ジャパン」の安藤哲也代表が、活動の意義や実例

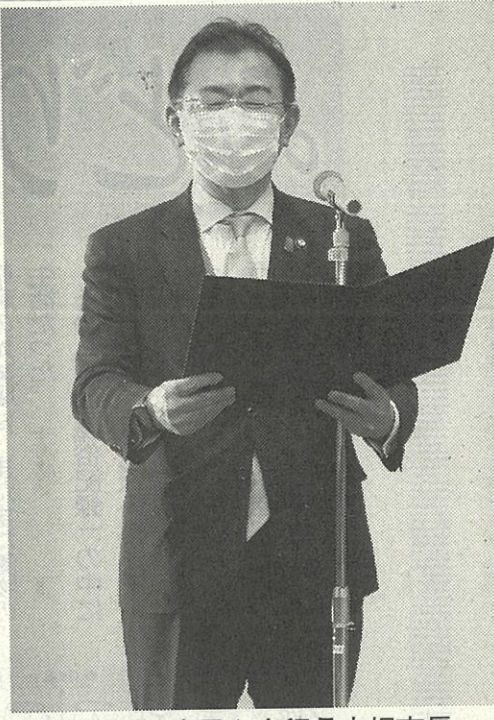
などを解説した。

イクボスは女性活躍や男性育休取得推進、育児、介護、持病など

のさまざまな制約下の業、社会を育てる」と

労働者の働き方見直しにつなげればと考えられた。イクボスの「イ

ク」には「部下や企業、社会を育てる」という意味が込められている。（横田沙貴）



「イクボス宣言」を行う中根市長 岡崎市福祉会館で